

第66回高齢者排泄ケア講習会 (WEB開催)

日時：令和3年11月26日(金) 18:00～19:30

場所：ご自身のPCまたはスマートフォンでのご視聴になります

参加費：無料 Field[※]：B(排便管理)/D(その他)

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他(スキンケア・オムツ
はずし・認知症・介護・保険 他)
詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：「口から腸活！摂食嚥下から始める高齢者の排便ケア」

●情報提供 太陽化学株式会社

開会の挨拶：山口秋人 先生 (特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長)

座長：荒木靖三 先生 (大腸肛門病センターくるめ病院 名誉院長)

講演：「当院における排便障害の予防や改善に向けた取り組みについて」

講師：薬丸美穂 先生 (鹿児島市医師会病院 診療支援部 管理栄養士)

～ 講師からのコメント ～ 15分程度

排泄物の状態は、体内における正常な代謝を表す指標です。不適切な排便管理は、便秘や下痢、それに伴う腹部不快や食事摂取量の低下を引き起こし、必要な栄養素の摂取や吸収を阻害します。管理栄養士の立場から、当院における排便障害の予防や改善に向けた取り組みについて報告します。

座長：種子田美穂子 先生 (NPO 法人日本コンチネンス協会 コンチネンスアドバイザー)

講演：「『安全に美味しく食べて動く』ための排泄ケアについて考える」

講師：松尾晴代 先生 (鹿児島市医師会病院 摂食嚥下障害看護認定看護師)

～ 講師からのコメント ～ 50分程度

食事摂取や水分出納、排泄を適切に管理することは摂食嚥下の基本です。特に摂食嚥下障害患者では、栄養摂取方法が、経口・経管・あるいは併用であるため、常に十分な配慮を行わなければ全身状態に影響を及ぼします。排泄には、基礎疾患や生活環境、薬剤、食事摂取量や心因性など多くの要因が関与しており多職種での包括的支援が必要です。

「安全」に「おいしく」食べて動くための排泄ケアについて、共に考える時間にしたいと思います。

閉会の挨拶：今丸満美 先生 (特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長)

福岡高齢者排泄改善委員会
ホームページ二次元コード

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、太陽化学株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局 (月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休)
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812

